



S メセナの活動実績は堅調、手法は多様化

2005年度「メセナ活動実態調査」結果【速報】

社団法人企業メセナ協議会（東京都千代田区、会長：福原義春）は、2005年4月に全上場企業、非上場売上高上位300社、協議会会員企業等計4,215社を対象に、メセナ（芸術文化支援）活動について調査しました（有効回答数634社、有効回答率15.1%）。2004年度（2004年4月1日～2005年3月31日）にメセナ活動を実施した企業は424社（66.9%）でした。

以下はメセナ活動を実施した企業424社について
企業活動の一環として定着

- メセナ実施企業424社のメセナ活動総数は2,753件、1社当たりの平均活動件数は6.5件でした。メセナの活動費総額について回答した企業372社（87.7%）の総額合計は232億5,698万円、1社当たりの平均は6,252万円であり、活動実績は堅調に推移しています。 P.3表1、図1参照
- メセナの運営状況を見ると、活動費の予算化（75.9%）、活動に対する評価の実施（77.6%）、年次報告書等への記載（33.7%）など、企業活動の一環として推進されていることがうかがえます。

メセナ活動の手法や対象が多様化

- メセナ実施企業の4割が、製品・技術の応用、社員の参画、施設の提供、企業が持つノウハウ面での協力など、資金以外の経営資源を活かした多様な支援にも取り組んでいます。
- アーティストやNPOなどとの協働により、教育や福祉の現場で新しい接点を引き出すなど、芸術以外の分野との複合プログラムに、約2割の企業が取り組んでいます。

社会的役割の一端を担う企業メセナ

- メセナ活動を行ううえでは、「地域文化の振興」（59.4%）を最も重視。また、メセナを通じて得たこととして、「地域との関係が深まった」（62.5%）など、地域社会や消費者からの信頼・評価が高まったとの回答が挙がっています。
- メセナ活動をどのような観点から評価するかについては、「社会に対する効果・影響」を挙げる企業が最も多く、また、メセナをCSR（企業の社会的責任）の一環と位置づける企業も8割を超えました。

【本件に関するお問い合わせ先】

社団法人企業メセナ協議会 広報担当：渡辺 / 調査担当：喜多

TEL: 03-3213-3397 FAX: 03-3215-6222 E-mail: mecenat@mecenat.or.jp

〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-8-2 第一鉄鋼ビル1階 URL: <http://www.mecenat.or.jp/>

.....本件は、10月4日(火)、文部科学記者会にて資料配布を行いました。

「メセナ活動実態調査」とは
(社)企業メセナ協議会が、全国の企業を対象に1991年より毎年実施している、企業の芸術文化支援に関する調査。メセナ活動の統計調査および事例収集を通じ、企業メセナの課題や展望を探る手がかりとする。調査結果は、企業の文化・社会貢献活動についての代表的なデータとして、企業・行政・研究機関・海外の文化機関等に広く活用されている。

調査の結果から抜粋 「2004年度にメセナを実施」と回答した企業424社について

「メセナ活動実態調査」では、宣伝広告費、広報費などの経費で支出した活動も対象であるが、販売促進を主目的とした場合は対象としない。また、スポーツ、学術研究、福祉、環境問題等への支援は対象としない。

メセナ活動の実績

「*」=複数回答

メセナ活動の芸術分野*	「音楽」302社(71.2%)、「美術」228社(53.8%)、「伝統芸能」139社(32.8%)が多い
メセナ活動の実施方法*	「他団体への資金支援」322社(75.9%)、「自主企画・運営」243社(57.3%)、「他団体への非資金支援(マンパワー、場所、製品・サービス、技術・ノウハウ等)」170社(40.1%)
メセナ活動の継続性	活動総数2,753件のうち、「新規」752件(27.3%)、「継続」1,940件(70.5%)、5年以上継続されている活動が1,188件(43.2%)
メセナ活動費総額 P.3表1	372社(87.7%)が回答した活動費総額の合計は232億5,698万円、1社当たりの平均は6,252万円

メセナ活動の運営体制

メセナ活動の基本方針	メセナ活動を行ううえでの基本方針を策定している企業は218社(51.4%)
メセナ活動の予算化	メセナ活動を予算化していた企業は322社(75.9%)
メセナ活動の担当部署*	「文化・社会貢献等の部署」を設置していた企業は101社(23.8%)

メセナ活動の取り組み

メセナ活動の重視点*	「地域文化の振興」252社(59.4%)、「芸術文化の啓発・普及」237社(55.9%)、「若手や評価の定まっていない芸術家への支援」139社(32.8%)、「青少年への芸術文化教育」125社(29.5%)、「鑑賞者への支援」108社(25.5%)
メセナ活動の対象やプログラムの選定方法*	「支援対象から直接要請があった」247社(58.3%)、「自主的に探し出した」200社(47.2%)、「外部から紹介・依頼を受けた」111社(26.2%)
メセナ活動の評価*	自社のメセナ活動について何らかの評価を行った企業は329社(77.6%) 329社がどのような観点で評価するかについては、「社会に対する効果・影響があったか」240社(72.9%)が最多、次いで「設定目標に対してプログラムが有効か」162社(49.2%)

メセナ活動の位置付け

メセナ活動を行う目的*	「社会貢献の一環として」375社(88.4%)が最多、次いで「地域社会の芸術文化振興のため」272社(64.2%)、「芸術文化全般の振興のため」232社(54.7%)
メセナ活動とCSR(企業の社会的責任)の関連	「メセナ活動をCSRの一環として位置付けている」企業は239社(56.4%)、「今後CSRの一環に含めていくと思われる」企業を合わせると352社(83.0%)
メセナ活動を通じて企業が得たこと* P.3図2	「地域との関係がより深まった」265社(62.5%)、「企業イメージやブランド価値が向上した」234社(55.2%)が多く、顧客や社員との結び付きが強まったとの回答もある
メセナ・社会貢献活動をとりまく状況の変化	「メセナ・社会貢献活動に対する内外からの期待が高まっている」385社(90.8%)、「経営トップの関心が高まっている」348社(82.1%)、「株主・消費者などステークホルダーからの問い合わせが増えている」300社(70.8%)、「活動の方法・成果に関してマスコミや社外での説明・紹介の機会が増えている」293社(69.1%)

【予告】 本調査の結果をまとめた「メセナレポート2005」を10月20日(木)に発行します。

社団法人 企業メセナ協議会とは

企業によるメセナ(芸術文化支援)活動の推進を目的とする民間企業の連合体として、1990年2月に発足した公益法人。主な事業として、企業の芸術文化支援についての、1.啓発・普及、2.情報集配、3.調査・研究、4.顕彰、5.国際交流、6.助成認定を行っている。会長・理事長：福原義春。正会員147社、準会員40団体。(2005年9月現在)

表 1 | メセナ活動費総額の推移 (単位: 万円)

実績年度	2004 年度	2003 年度	2002 年度	2001 年度	2000 年度
【単純集計】	[N=372]	[N=351]	[N=320]	[N=283]	[N=266]
活動費総額合計	2,325,698	2,242,517	2,126,398	1,758,029	1,853,344
1 社平均	6,252	6,389	6,645	6,212	6,967
【同一企業群 93 社】**	[N=93]	[N=93]	[N=93]	[N=93]	[N=93]
1 社平均	11,028	10,987	10,997	11,499	11,213

**時系列での比較が可能な、6 年連続で活動費について回答している企業 93 社のデータ。最近値 5 年間について掲載。

図 1 | メセナ活動の実施状況および 1 社当たりの平均メセナ活動件数の推移

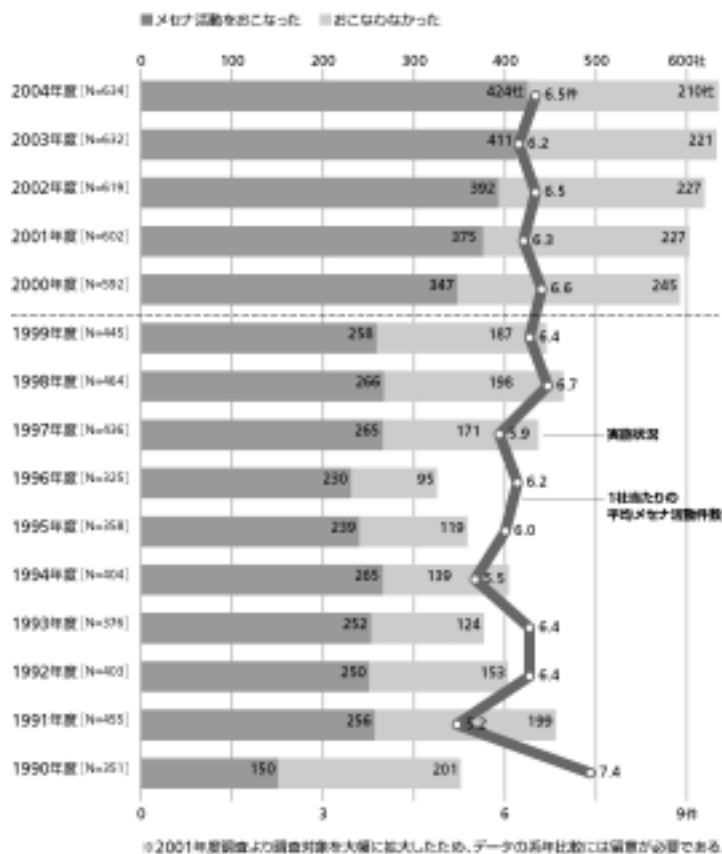


図 2 | メセナ活動を通じて企業が得たこと

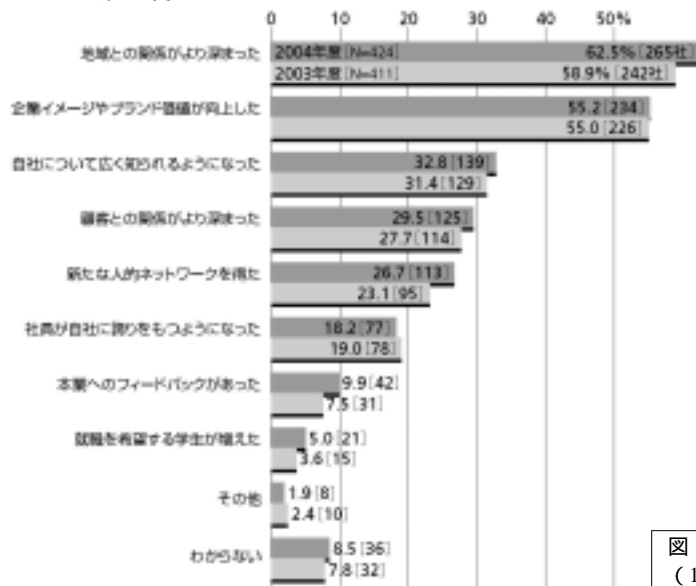


図 1・2 は「メセナレポート 2005」(10/20 発行) 掲載予定図より抜粋